

専心 光り輝く

2014年春の叙勲

春の叙勲の鹿児島県関係は、中綬章3人を含む92人が受章した。県内在住者は74人、本籍が鹿児島県で県外在住者が18人。社会の各分野で顕著な功績を挙げた人物に贈られる旭日章は24人、公的業務の功労者が対象の瑞宝章は68人となっている。総務省、消防庁、厚生労働省(知事上申分)の知事伝達式は5月7日、危険業務従事者叙勲とあわせ県庁である。宮崎県在住者は旭日章10人、瑞宝章29人だった。小綬章以上や話題の鹿児島県在住の受章者の喜びの声を掲載する(本人・家族の意向や都合で「喜びの声」を掲載していない人もいます)。

◇旭日双光章◇
宇都 鈴江さん(70)
出水郡長島町浦底3833



「魅力ある漁業、漁村づくりに少しでも貢献したい」と語る宇都鈴江さん

海への感謝 漁業振興で

全国有数の養殖アリの産地・長島町で養殖に携わり

ながら東町漁協女性部長を

36年間務め、漁業振興に奔

走した。1984年から県

漁協女性部連合会会長も兼

務する。「支えてくれた地

域や先輩、女性部、関係者

の皆さんを代表していただ

いたもの。身に余る光栄」

養殖業は近くに住む長男

きた。「大変」は自分を鍛え

てくれると思い、がむしゃ

らにやってきた」。漁協組

合の仕事などで多忙だった

夫の時義さん(74)を支えて

二男三女を育て、女手一つ

でアリの養殖業を切り盛りし

ながらの活動を振り返る。

養殖業は近くに住む長男

の活躍を支えている

◇瑞宝中綬章◇
松村 博久さん(79)
鹿児島市原良町1778の4



水力や風力から原子力に至るまで、エネルギー全般の仕組み解明に取り組んできました。空気の研究の一環で、今では当たり前になった小型の降灰ロッドスイーパー開発に携わったのもいい思い出です。鹿児島大学在籍時には、地域共同研究センターの初代センター長も務め、地域に根ざした大学づくりに力を入れました。今回の受賞は家族をはじめ、周囲の支えのおかげで感謝しています。鹿児島市出身。1964年に鹿児島大赴任。鹿大名誉教授。

地域との研究を推進